

# VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869  
ホームページアドレス: <http://www.orient-sec.com>



WEEKLY MARKET REPORT

1/19(月)～1/23(金)

## 今週の相場

### □ 薄商い続き、旧正月明け活発への期待

今週ベトナム市場は先週と同様、流動性が低く、狭い範囲で横ばいしないし小幅に一進一退した。売買代金は先週の1650億ドンから、さらに落ち込む傾向が続き、平均1000億ドン程度であった。

NYダウ及びアジア主要市場も、米国が新大統領誕生と共に景気回復の期待が高まるにも拘わらず、2009年の上場会社の業績悪化を警戒、下落の動きが目立った。ここまできて、輸出や海外資金に依存度が高くなったベトナム市場も部分的に連動した動きがあったと思われる。

ベトナムのデータの公表規則によると、上場企業の第4四半期業績の提出期限は1月23日にも拘らず、未提出及び延期申請した企業が半数超。発表した企業の2008年業績はすべて最終黒字である(下記参照)。ただ、他の未発表企業の最終赤字が出る可能性もあることを警戒、投資家は様子見を選んだ。旧正月休み明けの相場を期待したい。

今週、足元の業績が好調な株やディフェンス株(食品、水産など)に注目が集まった。えびせんのブランド力があるサゼン食品(SGC)は今週+11.30%と好調、ミンフー水産(MPC)が+15.46%と上昇した。

## 来週以降の権利落ち・注目発表

### □ カレンダー

- 09/2/04 HRC: 配当500ドン、支払予定日:3/06
- 09/2/09 TSC: 配当1200ドン、支払予定日:3/12
- 09/2/12 DCL: 配当1000ドン、支払予定日:3/09

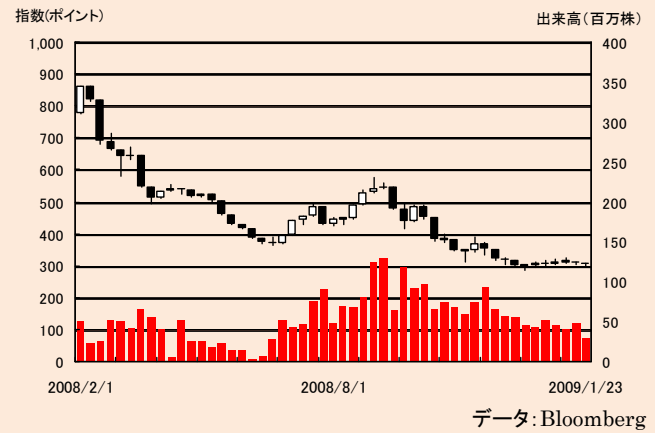
### □ 株式買取・売却発表

- SAF: 1/20～4/20、10万株を自己株買入れ予定。
- TCR: 1/16～1/23、チャムスター・ビジネス社は4万株を買取、保有株数590万5829株(保有率16.6%)に上げる。
- CNT: 1/15、社長ファム・アイン・トアン氏が1万株を買取した。

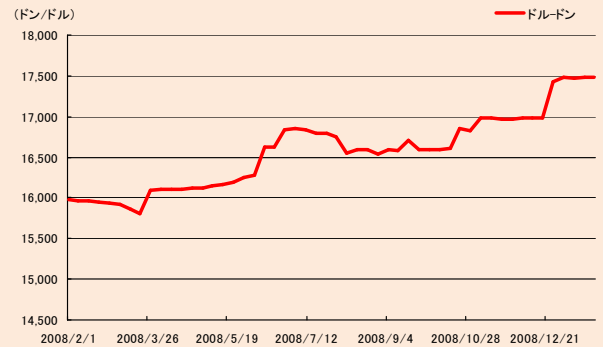
### □ 2008年業績関連発表

- SSI: 売上高-2.1%、純利益-70.7%
- CII: 売上高+29.1%、純利益+53.6%
- TMS: 売上高+29.5%、純利益+61.2%
- VIS: 売上高-15.0%、純利益-83.1%
- NAV: 売上高-16.7%、純利益-36%
- TTC: 売上高-13%、純利益-16.6%
- SMC: 売上高+39.5%、純利益+55.6%
- TCT: 売上高+14.9%、純利益+42.1%
- BMI: 売上高+16%、純利益+9.8%

## □ VN指数チャート(1年)



## □ ドル・ドン為替レート

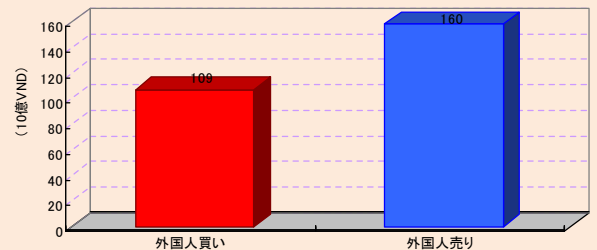


## □ 指数データ

	直近	前週比 (%)	1ヶ月比 (%)	1年比 (%)
ホーチミン・VN指数	303.21 (ポイント)	-1.0	-0.2	-61.0
ハノイ・HASTC指数	99.93 (ポイント)	-2.8	-5.1	-63.2
ドン・円	5.05 (円/1,000ドン)	-2.3	+4.5	+23.6

データ: Bloomberg

## □ 外国人投資家売買状況(1/19～1/23)



オリент証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

# VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869  
ホームページアドレス: http://www.orient-sec.com



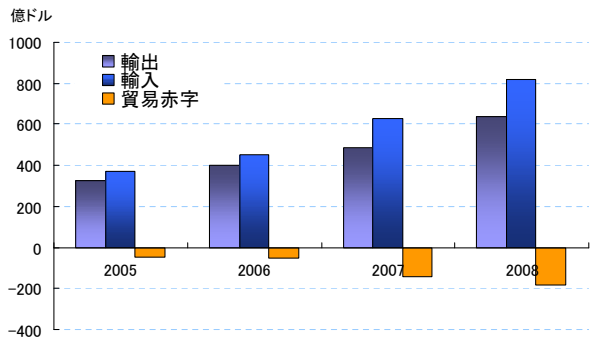
WEEKLY MARKET REPORT

## 2008年の意味ある数字: 貿易編(3)

先週号では、インフレや直接投資(FDI)を分析した。引き続き、08年の貿易を読み解きしよう。

### 輸出・輸入3割成長、下半期貿易赤字沈静化

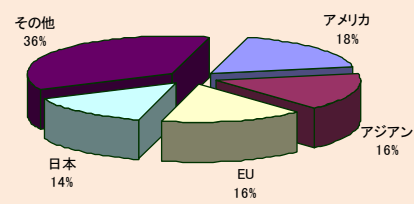
ベトナムは2007年にWTOを加盟し、自由貿易に向けて努力している。直接投資(FDI)増加と共に、生産や輸出に力を入れ、毎年20%以上の輸出成長率(金額ベース)を達成した。ただ、2007年の輸出額は前年比+21.9%に対して、輸入額が+39.4%だったため、貿易赤字は141.2億ドルを突破、06年の512億ドルから3倍強に増加した。この状況は2008年上半期まで続き、4月の月間貿易赤字率は66.3%まで上昇、6ヶ月の貿易赤字額は147.7億ドルと2007年の年間額より高い。ここまできて、ベトナム政府は輸入抑制策を実施した。下半期の月間貿易赤字額の5億ドル以下という結果で、2008年の貿易赤字が184.9億ドル(年間輸出額の22.5%)に留まり、目標の200億ドル以下を達成した。



### 輸出輸入をバランス化

発展途上国として、ベトナムの輸入金額で高い比率を占める品目は①機械②石油製品③鉄鉱④電子電気製品⑤自動車である(データ参照)。貿易赤字改善の為、ベトナム政府は自動車・鉄鉱の輸入税を増税、鉄鋼輸出税を減税するなど税制で輸入を引き締め、輸出産業への支援政策を実施している。世界的な景気悪化の中、貿易のバランスをとれるかどうかについて、①国内製品消費強化 ②競争優位がある製品の品質アップ ③国内生産強化などがカギだと思われる。例えば、いずれも輸出高世界2位の位置にあるコメ、コーヒーについては品質の高度化により、国内外市場での競争力を強化している。他方、製油所がまだなく、一回シンガポールに原油を輸出→石油製品を逆輸入するという形で、原油価格が高騰しても、ベトナムにとって、貿易赤字の改善までつながらない。2月より、ジュンクアアット製油所が完成し、石油精製ができるようになると、貿易赤字縮小に貢献する。

## 主要輸出市場や品目別輸出入金額



単位: 億ドル, %

輸入			輸出		
品目	金額	前年比	品目	金額	前年比
機械	137	23.3	原油	104.5	23.1
石油製品	109	41.2	アパレル	91	17.5
アパレル材料	68	11.5	靴	46.9	17.6
鉄鉱	66	28.5	水産	45.6	21.2
電子電気	37	25.8	コメ	29	94.8
自動車	24	62.8	コーヒー	20.2	5.8

データ: 国家統計局、工商省

## 週間 値上り・値下り上位5銘柄

### 値上り上位5銘柄

コード	銘柄名	終値 (VND)	前週比 (%)	売買代金(平均) (百万VND)
MPC	ミンフー水産	11,200	+15.46	279
HAX	ハンサイン自動車サービス	14,700	+11.36	188
SGC	サザン輸出入	12,800	+11.30	1,198
HAS	ハノイ郵電設備建設	12,000	+11.11	404
TNA	ティエンナム貿易輸出入	19,000	+9.83	639

### 値下り上位5銘柄

コード	銘柄名	終値 (VND)	前週比 (%)	売買代金(平均) (百万VND)
CAD	カドビメックス水産	10,700	-20.74	21
MTG	MTガス	11,300	-13.08	57
NKD	ノースキンド食品	23,500	-12.64	168
PMS	石油機械工業	17,000	-10.53	4
SDN	ドンナイ塗料	17,000	-8.60	9

## 売買代金・出来高一日平均上位5銘柄

### 売買代金平均上位5銘柄

コード	銘柄名	終値 (VND)	前週比 (%)	売買代金 (百万VND)
STB	サコムバンク	17,500	-2.24	10,120
FPT	FPT	50,500	+0.00	8,578
SSI	サイゴン証券	29,400	-0.34	7,944
SJS	ソング工業団地・都市投資開発	55,000	-1.79	5,465
DPM	ベトロベトナム化学肥料社	34,200	-0.58	4,929

### 出来高平均上位5銘柄

コード	銘柄名	終値 (VND)	前週比 (%)	出来高 (千株)
STB	サコムバンク	17,500	-2.24	578
SSI	サイゴン証券	29,400	-0.34	272
REE	リー冷蔵電気工業	18,500	-3.14	197
SAM	サコム通信ケーブル	18,800	-3.59	187
HPG	ホアファットグループ	50,500	+0.00	171

データ: Bloomberg

オリент証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10% (最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

# VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869  
ホームページアドレス: <http://www.orient-sec.com>



WEEKLY MARKET REPORT

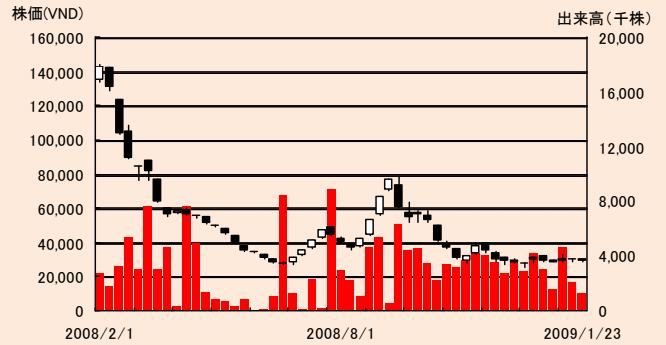
## 個別銘柄情報

### サイゴン証券 (SSI)

ベトナム最大手の証券会社。ブローカー、自己売買、ポートフォリオ運用、引き受けの4つの免許をもつ総合証券会社。1999年設立。2006年にHOSE上場。投資口座のシェアは20%とトップ、ベトナム株式市場の売買代金でも15~20%のシェアを持つ。2008年9月に大和証券が株式10.97%を取得。他の大株主はオーストラリア・ニュージーランド銀行 (ANZ) が18.35%を保有する。日本語ホームページがある。2008年1~12月期累計の売上高が1兆3228億ドン (前年比-2.1%)、純利益が2525億ドン (同-70.7%) となった。市場低迷で、国内証券会社の80%は赤字に転じたなか、SSIは最終黒字。

株価: 29,400ドン/株、実績PER:14.9倍 (01/23日終値)

### サイゴン証券 株価チャート



データ: Bloomberg

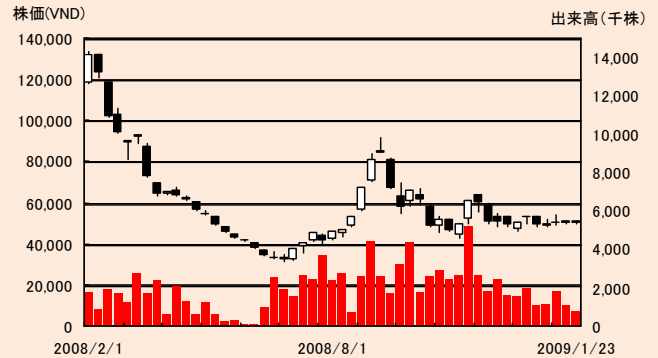
### FPT (FPT)

ベトナム最大手のIT企業。IT開発、ITコンサルタントのほか、携帯電話の販売、インターネットプロバイダーなどを手がける。その他、証券と不動産・金融なども展開。インターネット市場では、シェア38%を占め (子会社FPTテレコム)、固定電話にも最近、力を入れている。FPTの時価総額はホーチミン証券取引所においてトップ10位に入る。

08年12月期の連結純利益は8390億ドン (前期比+13.7%)、売上高が1兆6806億ドン (同+21%)。その内、ITソリューションズ事業の売上高が3196億ドン、アウトソーシング事業が2303億ドン、通信部門が3590億ドン、販売事業が4373億ドン、新事業の教育事業が475億ドンだった。

株価: 50,500ドン/株、実績PER:8.9倍 (01/23日終値)

### FPT 株価チャート



データ: Bloomberg

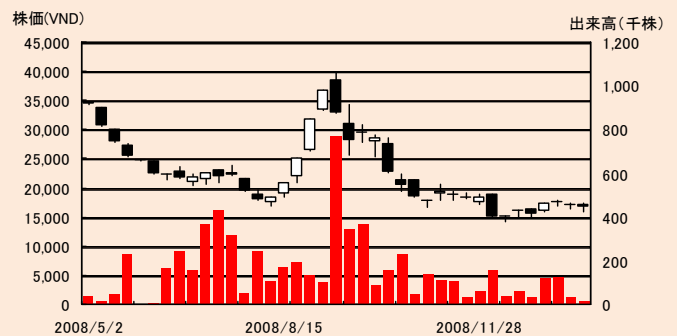
### バオミン保険 (BMI)

ベトナムの有力国営保険会社。損害保険大手。航空、海上、自動車、傷害保険などを提供、再保険事業も行う。1994年、財務省100%出資会社として設立。07年にHOSE上場。米AXAと業務提携。2007年の損害保険市場でシェア21.8%と業界3位だった。バオベト保険 (BVI-上場準備)、英プルデンシャル (PCI)、ペトロベトナム (PVN) の子会社ペトロベトナム保険 (PJI-未上場) は主な競争相手。

2008年1~12月期は保険収入が1兆9880億ドン、年間計画の1兆9500億ドン超、純利益が1450億ドン。

株価: 17,000ドン/株、実績PER:10.0倍 (01/23日終値)

### バオミン保険 株価チャート



データ: Bloomberg

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

# VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869  
ホームページアドレス: <http://www.orient-sec.com>



WEEKLY MARKET REPORT

## ハウザン製薬(DHG)

ベトナムを代表する大手医薬品メーカーでブランド力に定評。メコン川の支流ハウザン川沿いにある大都市のカントー市を拠点とする。1974年創業。2006年にHOSE上場。WHO(世界保健機構)の製造・開発・販売に必要な規格であるGSP/GLP/GSP基準を取得。鎮痛・解熱剤、抗生物質、血管改善剤などを200品目以上を製造。国内医薬品市場でのシェアは約10%とトップ。国内98%の病院に医薬品を出荷している。現在、政府が51%の株式を保有している。

08年1~12月期累計売上高1兆5130億ドン(+19%)、純利益1370億ドン(+9%)  
株価:112,000ドン/株、実績PER:14.7倍(01/23日終値)

## ホアファット・グループ(HPG)

2000年に設立、2007年に組織変更し株式化。その後2007年12月に上場を果たした。ベトナム最大級の複合経営企業。各種鉄鋼製品、鋼管、家具、冷蔵庫などを製造。工業団地などの不動産開発や不動産販売にも最近、進出。

鉄鋼製品の市場シェアは今年は1~7月は7~8%だったが、8月は10%、9月には11.7%に拡大している。現在、ハノイ郊外に年間35万トンの生産能力をもつ新設備が建設中。ベトナム北部方面の販売力に強味。

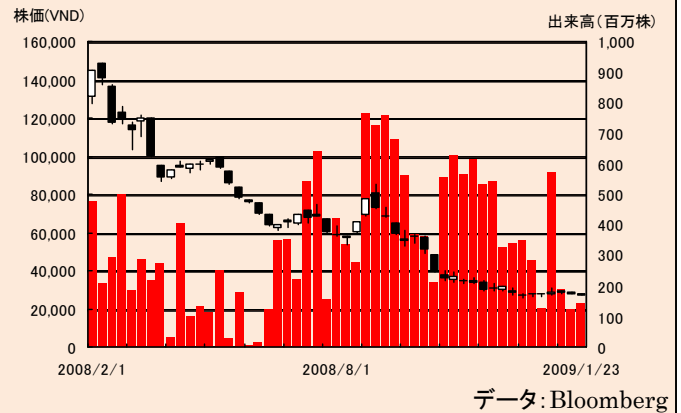
08年1~12月期累計売上高8兆4100億ドン(47%)、純利益8500億ドン(+32%)。  
株価:30,800ドン/株、実績PER:4.35倍(01/23日終値)。

## キンド食品(KDC)

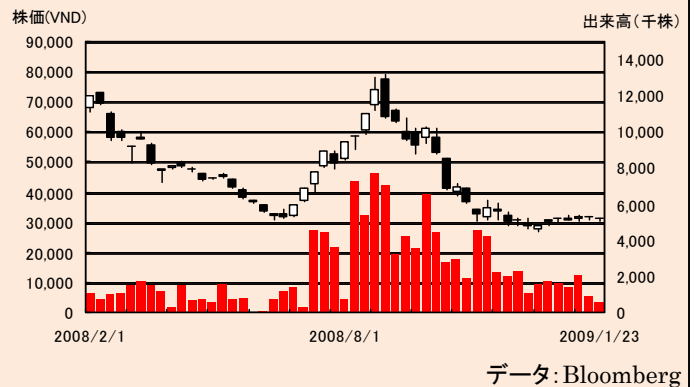
華僑系菓子メーカ。1993年に設立、小規模な製菓工場から興し、今や有名ブランドとなった。菓子製造以外では投資事業、不動産業も手がける。キンドグループのうち、キンド食品は南部・中部中心に販売、ノースキンド(NKD)は北部で市場拡大。そのほか、チベコ飲料(TRI)の株式をTOBにより、子会社化。最近、ホーチミン市にあるピナビコ製菓(OTC)の株式を51%以上を買収、グループ傘下に。ベトナムを代表する大手メーカーを目指している。

08年1~9月期:売上高5726億ドン(前年同期比+40.3%)純利益717億ドン(前年比-21.9%)。1~12月期累計業績の発表延長を申請した。  
株価:27,500ドン/株、実績PER:6.7倍(01/23日終値)

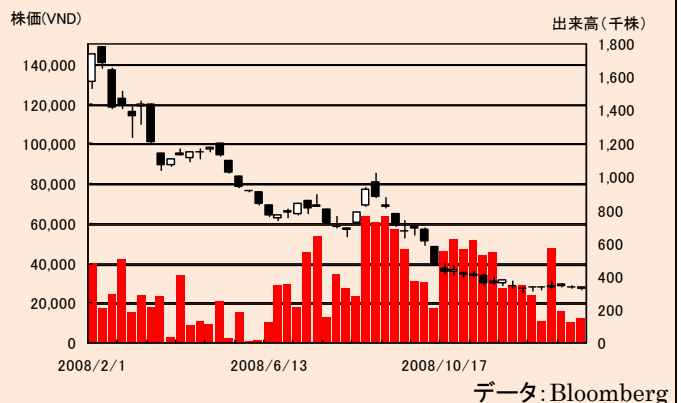
## □ハウザン製薬 株価チャート



## □ホアファット・グループ 株価チャート



## □キンド食品 株価チャート



オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン))(税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。